



若葉会館屋根の上の風見鶏

利加葉

若葉自治区会
 北九州市八幡西区若葉1-6-8
 発行責任者 安部 建世
 電話 645-3788
 若葉自治区会利加葉編集委員会
 題字 高良 弘氏

平成30年度 若葉自治区会一般会計中間報告 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(金額単位:千円)

収入		
区会費	1,997	
補助金等	1,163	
合計	3,160	
支出		
一般経費		
慶弔費	83	
負担金	484	
広報費	162	
自治保険	146	
その他	303	
防犯、防災 防犯灯電気代補助	0	
防犯灯電気代	177	
若葉会館	251	
体育行事	103	
福祉行事	714	
その他	108	
合計	2,531	

若葉自治区会

平成三十一年 元旦



緑ヶ丘・第二幼稚園児の作品

新年
あけまして
お目出とう
ございます



ございます



若葉自治区会 会長 安部 建世

このまちで共に生きて

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

区会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えになられたことと思います。お陰様で昨年の若葉自治区会は、大過なく運営ができました。これもひとえに区会員の皆様のおかげ、そして力強いご支援、ご協力の賜物だと深く感謝し、お礼申し上げます。

平成最後の正月です。歴史を感じながら新春をお過ごしください。明治・大正・昭和・平成と百五十年の長きに亘り、幾多の出来事を刻みながら迎える新しい「時」に立ち会えることは、私共人生にとりまして、意味があり又感慨深いものがあります。新しい時代と共に、時代に合わせ、我々も進んでみようではありませんか。

本年四月には町会長・組長・自治委員百四十名の改選があります。四月一日以降、新たに選ばれた方々と共に、本部役員協働し千三百世帯の皆さんと「明るく楽しい」「そして「共に生きて」若葉を創るうではありま

せんか。毎年新しい役員さんに言っております。「やりたくないのに選ばれた」「知らないうちに決まった」「任方がない」とか言わずに、選任されたからには町会・区会のためにみんな頑張らなければなりません。高齢化をもちもせず、素晴らしいまちづくりをやらねばならないのです。これを維持達成するためには「基本方針五項目」の確実な実行あるのみです。自分たちのまち「若葉」が将来にも若葉足り得るためにも、一層の自治区会活動の推進が望ましいのです。他人任せにしない自分自身ができることを積極的にやる。これこそが「共に生きる」若葉の本米・本気の姿だと思います。

基本方針

- 一、災害が発生しても安心して住み続けられるまちにしたい。
- 二、犯罪のない安全なまちにしたい。
- 三、美しく、快適な居住環境を創りたい。
- 四、自治区会、町内会を楽しく運営したい。
- 五、自治区会、町内会活動を活性化したい。

かに対応するか考えさせられます。人知のなせる事には限度があるにしても、我々は自分ができることを精いっぱい準備して災害に備えなければなりません。防災訓練・防災講話等積極的に参加することが自分を守るために望ましいことなのです。

次に高齢化が進む若葉についてです。三十年末で七十五歳以上の後期高齢者は六百四十二名になりました。昨年と比較すると八%近く増えております。この傾向は今後も続くでしょう。六十五歳以上の高齢者は人口比三十七%にもなり四十%に達するの時間の問題です。北九州市内で「住みやすいまち」「住んでみたいまち」といわれたい若葉です。高年齢化をもちもせず、素晴らしいまちづくりをやらねばならないのです。これを維持達成するためには「基本方針五項目」の確実な実行あるのみです。自分たちのまち「若葉」が将来にも若葉足り得るためにも、一層の自治区会活動の推進が望ましいのです。他人任せにしない自分自身ができることを積極的にやる。これこそが「共に生きる」若葉の本米・本気の姿だと思います。

今年の干支 「亥」について



干支の殿を務める十二番目が「亥」である。古代から、猪と人との付き合いはあったと推測され、出土した銅鐸には、鹿や猪の絵模様が描かれている。

イノシシ科の哺乳動物、日本猪は、ほぼ全国の山林に生息している。猪は一夫多妻で、雄は群には加わらない。雌の出産は普通五〜六匹で、活発な動きが嬉しいのか子育てが下手で子どもの瓜坊を川原などに忘れることがある。その

可愛い瓜坊の白い縞模様は、成長すると黒褐色か灰色の剛毛となり、縦髪は鋭い毛模様に変化する。尾は二十〜三十センチ、四肢は細くて短い。



山林では、猪・鹿・カモシカなど、肉が取れる獣類を広く「シシ」と言い、この肉は貴重な山のタンパク源である。猪は脂肪に富み美味しく、また牡丹として賞味、胆は、腹痛、下痢、二日酔いなど万病に効くとして珍重されている。

猪は、頸が短く、走る時に急に曲がれず「猪突猛進」この勇猛な行動に、昔から武士は憧れていたようだ。最近、猪が人里や街中を疾走、車と接触、人を襲うなどの報道を多々見る。

MU記

若葉会館だより

館長 戸田 明弘

昨年、久しぶりに登録クラブが増えました。五クラブになりました。従来より会館経費の削減に取り組みしており、基本料金「従量電灯C」を「従量電灯B」に変更したことにより、年間約二万円の削減となる予定です。



また、エアコンの洗浄・清掃を実施（ホール大エアコン、和室二台）し、スムーズに運転されています。

現在、会館内外の倉庫の配置、収納方法の見直しに取り組みしています。冬期には、コート類の整理のための、コート掛けをご付いたいただき設置いたします。

今年一年が区会員皆様にとって幸多き素晴らしい年でありますよう祈っております。

賀詞交歓会の御案内

- 日時：平成31年1月4日(金) 11時～14時
 - 場所：若葉会館
 - 会費：不要
- ※若葉自治区会会員ならどなたでも参加できます。今年も良い年でありますように、みんなで正月を祝いましょう。

平成30年度(平成31年3月まで)の若葉自治区会参加行事は、
 ・一月十三日(日)
 ・二月二十三日(土)
 ・健康フェスタ(竹末市民センター)
 本年も参加よろしく願います。

体育部だより

体育部長 古庄 勝弘

ウォークラリー大会

晴天の下、七十二名の若男女が、竹末市民センターを中心に、ウォークラリー大会を楽しみました。コースに設定した十四問



クイズに挑戦中

の課題の答えを探しながら、各チームが設定した時間でのゴールを目指し十四チームがスタートしました。ところが設定時間七十一分を過ぎて、一チームし

防犯防災だより

長洋部 防犯防災 坂口

昨年は、自治区会の防犯防災活動にご参加、ご協力いただき有難うございました。

今年度も残り三ヶ月となりましたが、「地域の安全安心は地域の手で」をモットーに、活動を続けて参ります。これまでの活動の一部を報告致します。

生活道路等緊急整備事業

毎年六月〜八月をキャンペーン期間として実施して三十九ヶ所の要望を申請しました。うち、樹木の伐採等は完了しましたが、道路関連の要望が未定となつて

かゴールしません。十五分以上遅れるチームが繰出、心配しましたが何とか全チーム無事にゴールインすることができました。

結果は、一町会チーム(山本夫婦、古海親子、梅田校長)が優勝、センターでの表彰式のと、恒例の福引大会も行われ盛り上がりしました。

ニュースポーツ大会

十一月十八日(日)

底冷えする竹末小学校体育館に、七十二名の方が参加して、昨年同様、ユニカール、シャッフルボールド、囲碁ボールの三種目を十二チームで合計六戦し、

結果は、四チームが四勝二敗で同点、ジャンケンで順位を決定し、朱之チーム(古部、太田、宮木、嘉



ニュースポーツ会場風景

います。年度内に完結できるように、働きかけていきたいと思います。 **盆踊り大会準備** 各町内会長、防犯防災委員の協力によって、「初盆供養会・盆踊り大会」を、無事に終えることができました。 **一万人防犯パトロール 大作戦北九州** 十月十九日、北九州市主催による、全校区一斉の防犯パトロールが実施され、竹末・若葉からも約四十名が参加しました。



防犯訓練

「今だから知ろう、逃げるタイミング」をテーマに九月十日、十月十三日と二度にわたって、災害時の行動規範を、きつずわりの大久保大介先生に教わりました。 行政から発令される「避

若葉神津会 筑後川温泉紀行

小野 晃一

平成三十年度の旅は秋も深まった十一月二十二日(木)〜二十三日(金)の一泊二日、福岡県の筑後川温泉及びその沿線にしました。

一日目の行先は、まずは朝倉郡東峰村。ここでは、北九州でもお馴染みの併優「高倉健」の展示会の真最中でなつかしいポスター多数に、往時の健さんを満喫。 彼がこの村と親の代から深い関係があったとは初めて知ったところ。

おまけに、展示会場の「いぶき館」が炭坑王伊藤伝右衛門の本邸から移築されたものとは初耳でした。 この後、夜明に出て、昼食、グラウンドゴルフの予定だったが、会場の状態が余り良くないので中止、日川のうめ酒造おみやげ見

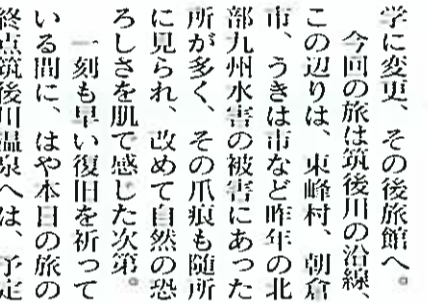
若葉喜楽会 宗像日帰り旅

山本 勝万

立秋も過ぎた小春日和の中、車中の二十人、まずは宗像大社へ。駐車場は、すでにいっぱいである。 西日本菊花大会」の菊の香がただよう鳥居前ではアンパンマンのキャラクターの菊人形が出迎える。 大鳥居をくぐると右の橋があり、池にはまき餅に群がる鯉の姿、弾ける女性の歓声。

参道を挟んだ広場には、賞に輝く菊の大作が並ぶ。中でも注目目は、家紋のように平らに開いた十五弁の「一文字菊」。 盆栽仕立や、古木に昇らせた小菊、大社に模した大作、玄海中学校生の作品などバラエティに富んでい

学に変更、その後旅館へ。 今回の旅は筑後川の沿線、この辺りは、東峰村、朝倉市、うきは市など昨年の北部九州水害の被害にあった所が多く、その爪痕も随所に見られ、改めて自然の恐ろしさを肌で感じた次第。 一刻も早い復旧を祈っている間に、はや本日の旅の終点筑後川温泉へは、予定より少し早く到着。 宿では昼間の疲れを温泉で癒した後、お決まりの宴会で、参加メンバー間の親睦を深めました。 二日目の午前中は、道の駅「うきは」で名産の柿や新鮮な野菜類を車内の置き場が無くなるくらい買い占める人もあったとか。 この後うきは市の「ちく



学に変更、その後旅館へ。

シニアクラブ 旅日記 老人会がシニアクラブと名称変更して、シニアの旅行記です。

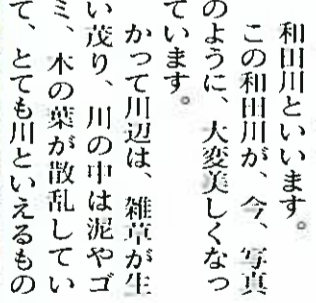
その中を、車椅子や手をつないだ幼稚園児達が通る。 気がつく、神門もくぐらず、お賽銭もあげていなかった。罰など当りませんように。 次は道の駅「むなかた」へ。五十分間の休憩の間に、お土産を買い、バスに戻る。 昼食は「はつしろ」へ。



盆裁仕立や、古木に昇らせた小菊、大社に模した大作、玄海中学校生の作品などバラエティに富んでい

蘇える和田川

竹末団地の中を流れる川の名前をご存知でしょうか。 和田川といいます。 この和田川が、今、写真のように、大変美しくなっています。



若葉ふれあい橋 清掃・除草作業前

かつて川辺は、雑草が生い茂り、川の中は泥やゴミ、木の葉が散乱して、とても川といえるものではありません。 行政(八幡西区役所、北九州住宅供給公社)へ何度も足を運び、対応を求めました。夏場の濁水期に施工



清掃・除草作業後

市内に入る。 球磨川の流れを見ながら河畔のレストランで昼食。 この後、人吉市内観光では、まず人吉駅で「からくり時計」を見学。これは、竹下内閣のふるさと創生一億円で製作されたそう。 次は、国宝の「青井阿蘇神社」に参拝、健康長寿と旅の安全を祈願した。



矢岳駅にて

えは万全。夕食には、参加者全員が顔を揃え、馬刺し・鮎の甘露煮・豚のすき焼き鍋などの地元産のご馳走に舌つづみ。アルコールの力を借りたカラオケや踊りは、各自の得意芸、隠し芸が披露され、大盛り上りの三時間であった。 十月三十一日(木) 今日(肥薩線人吉〜吉松間を「いさぶろう・しんべい」号で列車の旅。二両編成のボックス指定席に、小学校の修学旅行を思い出す。 スイッチバックが、大畑(おこば) 駅と真幸(まさき) 駅の二ヶ所にあり、矢岳トンネルを抜けると、眼前に霧島連山の絶景がひろがり臨時停車。しばし歓声を上げたのち、十時三十分吉松駅に到着。ここで「いさぶろう・しんべい号」と別れ、迎えのバスに乗る。 えびの市内で昼食の後、道の駅「えびの」で最後のお土産を調達して帰路についた。十六時四十五分、いこいの家」に到着、二日間

予定でしたが、台風・大雨のため、一部間に合いませんでした(米年度再申請)が、写真のような状態にまで復活させることができました。 現状は、あくまでも行政によって、あるべき姿に返していただいただけのことです。 今後は、住民のメンテナンス力が問われます。 多くの人の目が集まると川はいつまでも綺麗な状態を守る必要があります。 今年四月からは、河川愛護会もスタートする予定です。 定期的な、清掃日程も組まれると思いますので、皆さんの参加、応援をお願いします。



皆で和田川を守りましょう

編集後記

新年を迎え、改めて区会報「和加菜」の、編集の任の難しさを痛感しています。 地域の皆さん方に親しまれる、また読んでいただく内容にするためにはどうすればよいか、頭を悩ませるところです。 いただいた原稿の推こうにあたっては、極力投稿者の意を尊重しながら添削していますが、思いの及ばないところもあるかと思ひます。 皆さん方のご投稿を歓迎し、待っています。 (編集子)